

●京の七夕 笹竹の提供無事に終了 提供した商店街7（計22商店街）、笹竹165本（計745本）、回収2商店街

里山の会は3年前まで毎年笹竹の提供を続けてきました。ここ数年は途絶えていましたが、今年は淀本町商店街や吉祥院商店街が6月末に、7月末には丹波橋繁栄会、深草商店街、8月初旬には新京極商店街、京都三条商店街、松原京極商店街へ提供しました。それぞれ商店街の事情があって、納品時間が午前9時や11時、14時と様々なので、竹笹の切り出し時間も午前6時30分や午前8時、11時となり一定ではありませんでした。そして数量も4本とか60本とか規模が違いますので、苦勞したものです。納品にあたっては夜遅くまでの営業なので早すぎても困る、定刻でお願いしますといった強い要望があって、一筋縄では進まないことがありました。本日9日をもって納入は無事に終了できました。

●商店街の印象 7つの商店街に納品に訪ねて回って、最も強く感じたのは、それぞれ営業されている皆さんは、いずれも高齢者が中心でした。皆さん一生懸命に元気にのれんを守って、商店街の連携を大切にしておられることでした。若者たち、次代を担う世代が少ないように見えました。また共通していたのがスーパーや大型店の進出が見られないことでした。それに買い物客の皆さんも高齢者であることでした。買い物用の押し車を使っておられる人々が数多く見られました。お年寄りに優しい商店であったことです。会話が弾み楽しく売り買いがされている場面に接して心が和んで暖かさを感じました。

●河川協力団体になって取り組みを紹介して 里山の会は、20年前（発足時）にオオマツヨイグサが満開のころ草刈り業務の大型機械による刈取り（除草作業）が進められる場面に出会い、建設省木津川出張所に「種ができて散乱した後に刈ってほしいと」取り時期調整の要望をしました。理解され聞き入れていただきました。それ以後木津川の植物の調査を行った結果、917種の植物の生育や、その標本製作とその保存、写真集の発行に取り組みました。そして希少植物の維持管理を行ってきました。これらの資料を基に20年間不十分な面もありましたが調査保全観察を継続してきました。これらの成果が認められ、河川協力団体として認定いただき、いよいよ維持管理保全調査について、里山の会とともに進めていこうとする動きがみられるようになりました。里山の会としては長年の苦勞と実績が評価される時代に到達できたのではないかと思います。過日これらの調査結果の提出が求められたのです。国交省にこれまでにない大きな変化を感じました。私たちはこうした日を一日も早くと願って来ました。そしていよいよ実現にこぎつけられたのです。無理をせず頑張りたいと思います。

●「第4回 親子で遊ぼう学ぼう魚とり」 6日 普賢寺川河口・・渡しの浜 会場変更して開橋で実施しました。この取り組みも夏休みになって、三回目となり地元京田辺市域を対象のイベントでした。7月末からここしばらく降雨がなく瞬間的な夕立が数回でまとまった雨はなく、会場に予定の普賢寺川の水量が枯渇して、干上がりました。これまでしっかりした水量が流れる素晴らしいと思っていましたが、無残な姿になりました。数年前には全面的に干しあがることはなく楽しい魚とりの場となっていました。このようなことは初めての経験でした、仕方なく開橋下流に会場を移しました。ここは本流の河床が随分と低くなって本流からの流れ込みが難しい場所ですが、掘削を行えば新鮮な水が入るので、万一の場合に備えているところです。この準備があって、2時間の魚とりを行うことができ窮地を乗り切れました。木津川流域センターで、ライフジャケット装着の意味や事故防止の注意を伝え、「保護者はどの子供達もみんなわが子と考え無事故で終了できるよう一つになって危険を防ぎましょう」と訴えました。そして木津川読本を使って木津川はどんな川についてお話をしました。河川レンジャグループの北野大輔さんやアドバイザーの福井さんから詳しい魚合せが行われました。この日のプログラムの最後に予定されている「川流れ」は、最初はぎくしゃくしていましたが回を重ねるにしたがって、見事に流れ、水に慣れ水をしっかりつかんだように見えました。

●台風5号は和歌山県奈良県を縦断 滋賀県では姉川が氾濫 この台風の進路はこれまでにない進路でした。そしてスピードは自転車並みで和歌山県奈良県を縦断して広い暴風圏を持っていました。滋賀県では切

通しという形態を持っていた姉川では対応の遅れか、それとも増水のスピードによって対策ができなかったのか。洪水が起きました。この事故は、これまでの経験では推しはかれない想定外の現象だったようです。今後の調査が待たれます。いずれにしても異常な事態が起きていたことは事実だったらしいですね。自然は人間の思考や経験を超えて変化しているのでしょうか。警鐘を伝える出来事としてみておきたいものです。

●**京都三条商店街へ笹竹提供** 大宮公園と付近の柱6本に笹竹を取り付けがされました。そして回収も行いましたので笹飾りを見ることができて笹竹の利用について知ることができました。この商店街は少し前まではかなり衰退していたところだったようですが、マラソン選手のホームグラウンドとして使っていたことがあって、徐々に人気回復して、今では素晴らしい商店街と発展しています。此処では大型スーパーと協力共存関係がうまくできて人通りが多く活気が見られました。相当な苦労があったことがうかがえました。

●**新京極商店街へ笹竹提供 8000枚の短冊取り付けられる** 京都市観光の一番の繁華街とされているところが新京極だと思います。外国の観光客が押し寄せるところでしょう。午前9時前に訪ねると早くも外国の観光客のそぞろ歩きにかなり出会いました。中心地の公園で短冊に祈りを書く場所が設けられ夜間照明も設置され、人気スポットの演出がされています。昨年は8000枚の短冊が使われたとおっしゃっていました。竹の葉がしおれないように水路に根元がつかないように工夫して一週間で新品と取り替えられるよう2回目の納品とされていました。韓国語英語中国語など様々な文字が短冊をにぎわしていました。

●**大聖牛の設置場 15.2 km 右岸の砂洲と決定 5日** ●**大聖牛 準備日程概要案を検討 10月21日 22日(土・日)の二日間**で大聖牛の設置を行うことになっていますが、その設置場所の特定が8月5日淀川河川事務所の稲垣環境課長と京都大学の竹門教授、そしてNPO里山の会の前理事長深田さんと新理事長播川さんの立会の下で木津川右岸15.2kmの地点に設置を決定しました。この場所は2年前水際に竹蛇籠を設置した場所での影響や効果があって、砂洲が大きく成長しています。不法占用の土地もあって少し困難でもあります。水際に適当な運搬通路の設置が可能であり適地とされました。地域住民と大学、そして国が共同して新しい川づくりの試みとして大仕事をやりあげたいと思っています。日程は9月30日10月1日の竹の切り出しや竹割を予定しています。そして10月7・8日(土・日)の二日間竹割や竹蛇籠編みの下準備を行って、大聖牛を組み上げたいと予定しています。参加は無料ですから積極的にご参加をお願いいたします。まもなく案内チラシも出来上がりますので、ご予約に入れておいてください。前回以上の大作業です。

●**8月16日(水) 16時から「灯籠流し」**を行います。参加費無料です。場所は京田辺市の防賀川(田辺団地8棟東側)です。駐車場は京田辺市河原の府営団地第2公園に予定しています。どなたでも簡単に制作出来ます。小さな小川に祈りを込めて流してみませんか、毎年100人以上の親子づれの参加があります。濡れてもいい履物をご持参ください。

●**19日 京都府子どもの水辺 スタッフ集合 8時30分(開場9時) さくらであい館 スタッフ募集** 参加した子どもたちによる経験や意見発表が午前中あり、引き続き現地木津川と宇治川の背割り堤で野鳥観察(浜野さん指導)や昆虫観察(桜谷先生)植物観察(伊藤千恵子さん)が行われます。そして藤田カヌーさんによるカヌー体験の指導にも参加できます。いずれも素晴らしい指導者による体験観察です。当日参加も受け付けます。無料体験なので気楽におこしてください。昼食やおやつはご準備ください。汗や濡れた時の着替えもご用意下さい。定員に少し余裕があります。

●**20日 第5回親子で遊ぼう学ぼう魚とり 集合 8時30分 山城大橋西詰 野球場駐車場** 城陽地域を参加対象にしていますが、あと少し(10組)を全域から参加を受け付けます。大急ぎで往復はがきで申し込んでください。天候の関係や日照りの関係で6回目(26日)の開催は不確定です。

●**第21回里山講演会 日程決まる 9月2日(土) 13時開場 京田辺市中央公民館**

①イタセンパラの今後の取り組み 淀川河川事務所 ②里山活動に期待するもの 夏原グラント助成金審査委員の2題をお願いしています。講師派遣について折衝を進めています。多くに皆さんのご参加をお願いいたします。